

領 収 書

令和元年 9月18日

本郷 淳一 議員

金額
(消費税込)

1,599円

第4回佐野市議会 議会報告会費用分担金として、上記の金額を領収しました。
(令和元年7月8日、9日、11日報告会開催)

佐野市議会報告会運営会委員長

木村 久雄



※金額や発行元などが、枠内に収まるよう、また重ならないように添付してください。

(ご挨拶)

皆様には日頃より、温かい御支援を頂き心より御礼申し上げます。第3回定例会では、2年半ぶりに一般質問を行いました。また、平成30年度決算審査では、財政に関する指数は健全であり、適切に執行されていることから全議案が認定されました。しかし、今後も地方財政を取り巻く環境は、厳しさが続くことが想定されており、しっかりとチェックしてまいります。



一般質問



(台風19号による被害状況)

台風19号による記録的な豪雨に伴い、秋山川の決壊など甚大な被害が発生しました。佐野市における人的被害は、中等症1名、軽症2名。住家被害(精査中)は、床上浸水1,472棟、床下浸水1,210棟でした。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興に全力で取り組んでまいります。



クリケットW杯周知へ

■ U19クリケットW杯
19歳以下クリケット日本代表は来年1〜2月に南アフリカで開かれるW杯への出場を決めている。クリケットタウン佐野創造プロジェクトを推進している市にとって、事業の認知度向上につながる好機だ。関口吉丸観光スポーツ部長は「市から出場する選手の活躍を祈念し、垂れ幕を作成するなど、広く周知する方策を検討し実施したい」と答弁した。本郷氏が質問した。

《クリケットのまちづくり》

📌 **スポーツの枠を超えたリーディングプロジェクト！**



【19歳以下ワールドカップ出場】

- ・市民プレーヤーの本選出場は、クリケットのまちづくりを進める上で絶好の機会。
- ・本市から出場する選手の活躍を祈念して、広く市民に周知する方策を検討し実施する。

【市民の認知度向上】

- ・毎月広報さへの掲載の他、「クリケットの世界」という冊子を作製したので活用する。
- ・ケーブルテレビでの試合の放送は、認知度向上には有効。関係者と協議し検討する。



【「クリケットタウン佐野創造プロジェクト」と「佐野クリケットチャレンジ」】

- ・二つは同一のもの。前者は、佐野市の計画、後者は、秋山マネージャーが推進する愛称。
- ・クリケットを契機として国際ハブ都市、いわば経済、文化等の国際交流拠点都市を目指す。



【今後の方向性】

- ・本事業は、関係人口の増加や新たな事業の創造、地域の賑わいをもたらす重要な事業。今後さらに全庁的にクリケットや佐野市国際クリケット場を活用した事業展開を図っていく。
- ・国際クリケット場の旧校舎利活用を、庁内の関係各課とともにプロジェクトにおいて検討中。

《中高年のひきこもり対策》

📌 **本気で取り組むことを期待！**



【実態調査の実施】

- ・実態を知ることは、大変重要なことであると考えているが、大変デリケートな問題でもあるので、関係機関や団体などと十分協議し、調査の方法を検討していく。

【本市の支援体制】

- ・幼少期から中高年まで、生涯にわたる切れ目のない支援体制を整えることを考えている。
- ・相談を一元的に受けられる窓口を設置し、相談者に寄り添った支援体制を検討中。



【ポラリス☆とちぎとの連携強化】

- ・ひきこもりサポーターは12名おり県内で一番多いが、さらに、積極的に働きかけて行く。
- ・ひきこもり相談は高度な専門知識が必要であると考えている。県による相談分室の設置が必要であることから、市長会などを通して県に働きかけていく。

平成30年度決算

全議員で構成された決算審査特別委員会が、4日間にわたり開会されました。延べ23名の委員が質疑し、全10議案が原案のとおり認定されました。また、最終日の本会議においても全議案が認定されました。

《一般会計》()は対前年度増減

- ・予算現額 490億5,072万円 (△2億7,321万円)
- ・歳入決算額 480億1,901万円 (△1億1,055万円)
- ・歳出決算額 455億9,777万円 (3億2,293万円)
- ・実質収支額 20億3,183万円 (△7億2,195万円)

《特別会計》※ 8事業合計

- ・予算現額 305億0,969万円 (△36億6,261万円)
- ・歳入決算額 299億5,735万円 (△31億3,344万円)
- ・歳出決算額 293億6,525万円 (△22億0,465万円)
- ・実質収支額 5億8,045万円 (△9億2,724万円)

《企業会計》

【水道事業会計】

- ・経常利益 2億5,293万円 (873万円)
- ・当年度純利益 2億6,546万円 (480万円)